

PREFECTURAL  
MUSEUM OF ART  
CHIBAJO BRANCH

雄壮な石垣を残す熊本城、  
その静かな佇まいに隣り合うように  
県立美術館分館は建っている。  
このプロジェクトは、この地に建っていた  
旧県立図書館の再生工事として進められ、  
外装、内装とも新しい建物に生まれ変わった。  
このような再生工事の試みは、  
日本ではまだまだ事例が少ない。  
外観は、熊本城の威容に呼応するかのようだ。  
屋根は、兜のように突出し、  
展示ウォールが収納できるよう、工夫されている。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県

くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木建築課 〒862-70 熊本市水前寺6-18-1  
☎096-383-1111(6220-6221)

内部は、外と表情を変えて  
温もりが感じられるよう

1階から4階までの吹抜け部分は、  
全面板張りとなっている。





旧県立図書館

● 建築概要

ヨーロッパにおけるリノベーションは古い構築物に新たな生命を付与し、蓄積された記憶を保存する目的のもとに行われてきた。

旧図書館は歴史的なランドマークではないから、我々は、単なるリノベーションに止まらず、ラディカルな変革を行うべきだと考えた。

建物の新たなイメージは、それが面する熊本城の石垣の壮大さと力強さに呼応するとともに敬意を払ったものである。それにしてもこの建物はどうあるべきなのだろう？スペイン風に？ヨーロッパ風に？日本風に？熊本にあるバルセロナなのか？バルセロナなのか？あるいは熊本なのか？



● 建築家プロフィール

エリアス・トーレス

- 1944年 スペイン生まれ
- 1968年 バルセロナ建築高等技術学校卒業  
ホセ・アントニオ・マルチネス・ラペーニャと専門的な協力関係を結ぶ
- 1969年 バルセロナ建築高等技術学校教授
- 1977年 ロサンゼルスUCLA客員教授
- 1993年 バルセロナ建築高等技術学校よりDoctorate授与

ホセ・アントニオ・マルチネス・ラペーニャ

- 1941年 スペイン生まれ
- 1968年 バルセロナ建築高等技術学校卒業  
エリアス・トーレスと専門的な協力関係を結ぶ
- 1980年 バルセロナ建築高等技術学校教授

● 主な作品

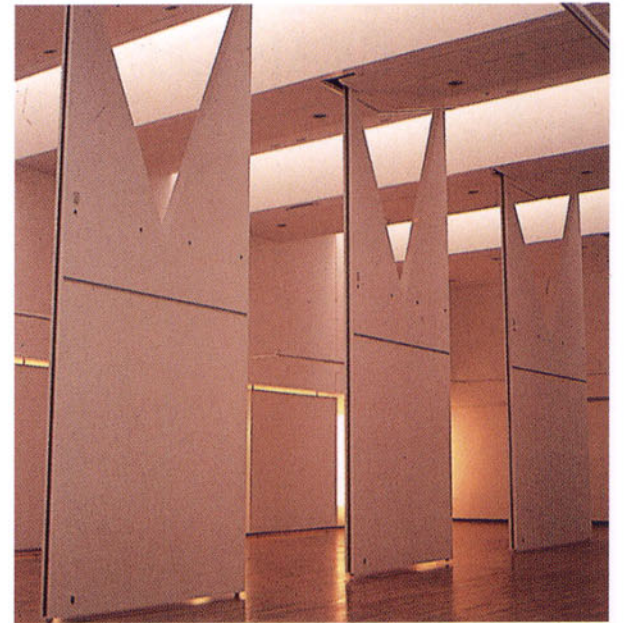
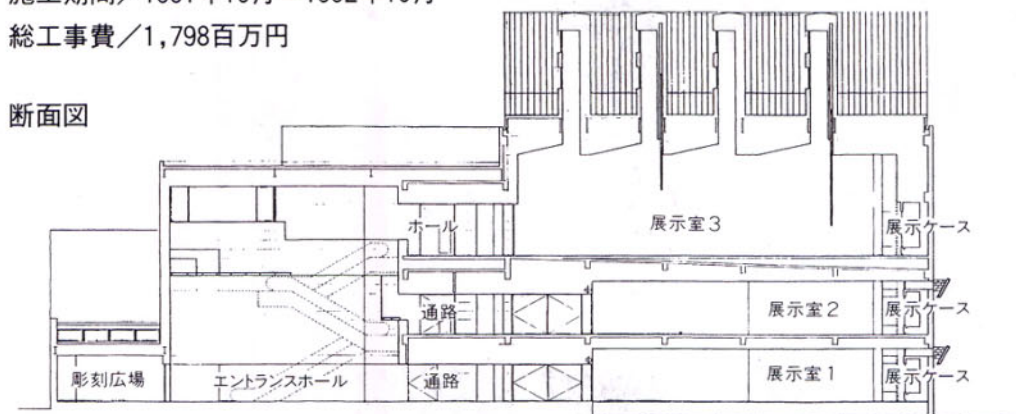
- イビサの教会、大阪花博フォーリー、バルセロナオリンピック選手村
- 1986年 The Golden Delta  
ADIFAD産業デザイン賞
- 1995年 Hispalyt Award 賞

● 建築データ

- 名称/県立美術館分館
- 所在地/熊本市千葉城町2-18
- 主要用途/美術館
- 事業主体/熊本県
- 設計者/トーレス & ラペーニャ+大和設計
- 施工者 建築/浅沼組+坂口建設JV  
電気/太陽電気  
空調/上田商会+三祐工業JV  
衛生/広誠設備工業  
昇降機/東芝

- 敷地面積/4,071㎡
- 建築面積/1,889㎡
- 延面積/5,084㎡
- 階数/地下1階、地上4階
- 構造/鉄筋コンクリート造
- 外部仕上 屋根/銅板ブキ  
外壁/石貼り (県産合津石) 乾式工法
- 施工期間/1991年10月-1992年10月
- 総工事費/1,798百万円

断面図



PHOTO/石丸捷一、K・A・P事務局